

(資料5別紙) 大阪市統合プラットフォームアジャイル開発業務委託 提案書評価表

評価点	評価項目				得点配分				技術点 概算比重	全体 合計	全体 比重	
	評価項目	提案書へ記載する項目	評価観点	評価点数 (満点時)	項目 加重点	項目評価点 (満点時)	小計					
技術評価点	1 本業務の背景と目的への理解	①本業務の背景と目的の理解 ・本業務の背景と目的を踏まえて、本業務に対する事業者(以下「提案者」という。)の理解と、本業務に対する取組方針を明示すること。  ②本市の内部管理業務のDX推進に対する貢献方法 ・本市の内部管理業務のDX推進にどのように貢献するかを明示すること。	①本業務の背景と目的の理解 ・仕様書に記載の背景と目的を十分理解し、本業務の取組方針について提案されているか。  ②本市の内部管理業務のDX推進に対する貢献方法 ・本市の内部管理業務のDX推進を加速させるための貢献方法の提案が具体的に示されているか。	5	4	20	20	10.0%				
技術評価点	2 体制	①本市とのスクラムチーム構築にあたっての考え方、本市との役割分担 ・本市職員と提案者とのスクラムチームの構築方法や役割分担（作業範囲・指揮命令系統・成果責任のすみ分け）の具体的な内容を明示すること。 ・本市内製対象（例：Record Producerの開発、提案者開発分に係る要件定義・運用保守の一部を内製）に係る支援方法を記載すること。  ②提案者の実績 ・提案者が過去に携わったアジャイル開発における具体的な実績を明示すること。（特にアジャイル開発の成功事例や内製化支援の実績）  ③メンバーの体制 ・仕様書に記載の内容に留意し、要件への充足、再委託の有無、他プロジェクトとの兼任／専任、役割の兼務／独立性等の留意事項を遵守したメンバー構成（統括責任者、スクラムマスター、上流工程担当者、ServiceNowアーキテクト、ServiceNowシニア開発者、品質管理業務を担当する体制）と、具体的な役割分担を明示すること。 ・各担当者の経験、役割、ServiceNow関連業務の実務経験年数や保有資格（例：ServiceNow認定資格等）を明示すること。  ④仕様に示す業務量（人月）の履行期間内配分案 ・仕様に示す業務量に基づく各メンバーの業務配分案（スプリント毎のリソース配分等）を明示すること。なお、提案書に添付必須の「工数積算シート」（本市指定様式）に記載の人月と一致させること。  ⑤品質管理業務を担当する体制と品質確保の考え方 ・品質管理体制や、アジャイル開発における品質確保のための方針（レビュー方法、テスト戦略、ユーザビリティチェック等）やその具体的な方法を明示すること。	①本市とのスクラムチーム構築にあたっての考え方、本市との役割分担 ・本市職員と提案者のスクラムチームによるアジャイル開発の進め方、チームの在り方、重要な観点について、理由や根拠とともに、具体的かつ有用な提案が示されているか。 ・本市との役割分担及び内製支援の方法について理由や根拠とともに、具体的な提案が示されているか。  ②提案者の実績 ・提案者としての過去のアジャイル開発における成功事例や実績が、具体的かつ実務的な内容で示されているか。 ・実績に基づいたノウハウ等の提供が有用なものであるか。  ③メンバーの体制 ・提案者が本業務を遂行するためのメンバーの体制や役割分担が具体的かつ適切に示されているか。 ・各担当者の経歴、役割、ServiceNow関連業務の実務経験年数や保有資格が本業務の要求に適合しているか。 ・各メンバーの職務遂行能力や専任比率に基づく配置案の実現可能性が示されているか。  ④仕様に示す業務量（人月）の履行期間内配分案 ・提案者の業務量配分案が、開発の進捗に合った適切なリース配分をしているか。 ・期間内に効率的に業務を履行するための配分案が具体的に記載されており、その有効性が根拠を持って示されているか。 ・提案書に添付必須の「工数積算シート」（本市指定様式）に記載の人月と一致しているか。  ⑤品質管理業務を担当する体制と品質確保の考え方 ・品質管理業務を担当する体制が明確で、アジャイル開発における開発物の品質確保の方法（レビューの頻度やテスト戦略等）が具体的に示されているか。 ・品質管理ための手法と改善方法が記載されており、それらが実行可能であることが確認できるか。	5	10	50	50	25.0%				
技術評価点	3 実行計画	①スプリント計画および四半期計画の実行可能性 ・スプリントの期間、各スプリントの目標設定、進捗管理方法を明示すること。 ・四半期計画（マイルストーン、成果物、レビュー時期）とスプリント計画の整合関係を明示すること。  ②優先度調整方法およびDoR（準備完了定義）／DoD（完了定義）の運用方法 ・要件・リソース変動時の優先度調整手順を明示すること。 ・DoR／DoDの定義と適用場面（バックログ受入、完成判定）を具体的に明示すること。  ③進行の可視化・報告（透明性の確保） ・進捗の可視化手段（管理ツール・管理方法等）と更新頻度を明示すること。 ・本市への報告方法及び頻度（デイリー参加可否、週次・スプリントレビュー、月次報告等）を明示すること。 ・月次の履行証跡（進捗、活動実績、提出物一覧、品質KPI、課題・是正履歴等）および提出物に係る運用方法（頻度、記載事項・様式、提出方法、管理方法等）を明示すること。  ④AI活用の検証・検討 ・AI活用に係る実証・検討テーマ、実施時期、提出物のイメージ、検証方法・内容等を記載すること。  ⑤他事業者との関係性 ・統合プラットフォームのガバナンスへの準拠方法（遵守・提言・修正依頼）と、統合PF構築事業者・公文書管理サービス事業者等との連携体制、関わり方を記載すること。	①スプリント計画および四半期計画の実行可能性 ・記載のスプリント／四半期計画が現実的であり、両者の整合と進捗管理の具体性が確認できるものであるか。  ②優先度調整方法およびDoR／DoDの運用方法 ・要件・リソース変動時の優先度調整手順が明確かつ実行可能性が見込まれるものであるか。 ・DoR／DoDが定義され、運用場面が具体的に示されているか。  ③進行の可視化・報告（透明性の確保） ・進捗の可視化方法・頻度が妥当で、本市が常時状況把握できる状態になっているか。 ・定例報告・レビューの頻度・方法が明確で、リスクや遅延の早期検知／是正につながるか。 ・履行証跡及び提出物に係る運用方法が明確に示されているか。  ④AI活用の検証・検討 ・AI活用に係る実証・検討の実施計画の具体性が示されているか。  ⑤他事業者との関係性 ・統合プラットフォームのガバナンスへの準拠方法と、関係事業者等との連携体制、関わり方が明確に示されているか。	5	8	40	40	20.0%				
技術評価点	4 資産化	①整備方針と対象 ・共通部品・インフレート・ナレッジ（ServiceNow上の開発資産を含む）の対象範囲、および標準化・品質方針を明示すること。 (例：対象資産の種別、資産化の基本ルール、最低品質基準等)  ②管理と引継ぎの方法 ・資産の版管理の方法、および引継ぎに必要なドキュメントと引継ぎ方法を明示すること。  ③再利用の促進と目標 ・再利用の手順・方法を記載し、数値目標を一つ以上示すこと。 (例：再利用率、登録件数、テンプレート適用率等の目標値と測定方法)	①整備方針と対象 ・資産化の対象範囲が明確で、本業務に適合した標準化・品質方針が示されているか。  ②管理と引継ぎの方法 ・版管理が分かりやすく実行可能で、引継ぎの段取りと完了基準が明示されているか。  ③再利用の促進と目標 ・再利用の実施手順が具体的で、測れる目標（いざれか1指標以上）が示されているか。	5	6	30	30	15.0%				
技術評価点	5 リスク対応	①変動・遅延発生時の回復方針 ・メンバー交代・要求変更・遅延が生じた場合の基本方針、判断・対応の流れ（誰がいつ決めるか）、および本市への連絡・エスカレーション経路を明示すること。  ②品質KPI逸脱時は正プロセス ・用いる主要な品質指標と逸脱時の対応手順（検知→原因分析→対策→確認）、完了の基準を明示すること。 ・品質KPIについて、いざれか1指標以上の数値目標と逸脱閾値、測定・報告方法を記載すること。（例：回帰テスト自動化率≥60%、初回ユーザー受入テスト合格率≥85%、欠陥は正日数の中央値≤5営業日 等）  ③リスク管理の運用 ・リスクの識別・記録・レビューの方法、実施頻度、重大リスクの早期警戒手法とその共有方法を明示すること。	①変動・遅延発生時の回復方針 ・方針と手順が現実的かつ迅速で、役割分担と連絡経路が明確か。  ②品質KPI逸脱時は正プロセス ・指標の級別と手順が一貫しており、是正完了の基準が示されているか。 ・数値目標・閾値・測定方法が整合し、是正までの運用が実行可能であるか。  ③リスク管理の運用 ・記録・レビュー・共有が平時に回る設計になっているか（頻度が明示されているか）。	5	8	40	40	20.0%				
技術評価点	6 追加提案	・本市内部管理業務のDX推進に貢献できる追加提案があれば、理由・根拠を含め、具体的に記載すること。	・追加提案が本市にとって有益である理由・根拠が記載されており、かつ、その追加提案の内容が本市にとって有益な提案であるか。	5	4	20	20	10.0%				
(参考) 価格評価点	-	-	(なし)	(なし)	-	-	-	200	200	100.0%	200	50.0%
								200	200	100.0%	400	100.0%